

陽光

— 学校通信 —

令和6年度 卒業おめでとう号

多可町立八千代中学校

令和7年3月14日(金) 発行

<https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-jr-hi/>

電話 (0795) 37-0049 (文責: 校長 吉田)



「卒業式式辞より」

学校長 吉田 勇二



ここ野間の里に吹く風にも、確かな春の訪れを感じる、今日の佳き日、藤原正和多可町副町長様をはじめ、ご来賓、並びに保護者の皆さまのご隣席を賜り、ここに第55回卒業証書授与式を挙行できますこと、心から感謝申し上げます。

さて、44名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。たった今、卒業生の皆さん一人ひとりに卒業証書を手渡しました。担任の先生方からの想いを込めた呼名に真剣に応えた皆さん一人ひとりの返事、また、証

書を受け取る際の凛とした表情には、本校での中学校生活をがんばり抜いた充実感が溢れていました。そして、9年間の義務教育を終え新たな道を歩んで行く強い決意を感じました。

「今だ 輝け 八中生!」をスローガンとして、本校伝統の生徒主体の活動を継承し、発展させてくれた生徒会。その生徒会を中心としたみんなの活躍で、大成功を成し遂げた「魅せろ 輝け 八中生!」の体育祭と「いのちと人権」について表現した文化祭。八千代中学校のリーダーとして、全校生を引っ張る皆さんの姿を目の当たりにし、日々の成長を感じると同時に、一人ひとりの熱い思いにふれることができました。文字どおり、校訓の「全校一心」を体現してくれたと感動しています。改めて、お礼を言わせてください。ありがとうございました。

また、私が校長として着任した1年前、初日から元気な挨拶をもらってとても嬉しかったことを思い出します。4月早々の新入生歓迎遠足ではジャンケン列車に誘ってくれたり、5月の修学旅行では貴重な楽しい思い出を共有したりすることができました。皆さんの良いところは「心の優しさ」です。これは、私が皆さんと出会ったときの第一印象から変わっていません。これからも大切にしてほしい強みだと思います。皆さんの義務教育最後の1年間に立ち会えたこと、そして、学校のすばらしさを、改めて感じさせてくれたことに、感謝したいと思います。

皆さんが主役となって生きていくこれからの時代は、急速なAI技術の発展やグローバル化の進展などにより、どのような変化が起こるか、予測ができない時代といわれています。こうした時代を逞しく生き抜き、人生を切り拓いていくためには、自らを鍛え、自分を信じ、いろいろな人との関わりの中で協力し、課題を解決していく力が必要です。私は、そのための原動力となるのは「夢」や「志」をもつことだと思っています。自らの夢や志の実現に向けて、少々の困難に直面しても、ぶれない、負けない、粘り強く挑戦し続ける、そうした心の強さやしなやかさがあれば、世の中の変化や困難もきっと乗り越えられることでしょう。

そこで「夢」について、2つの話をしたいと思います。1つ目は、江戸時代の教育者であり思想家として有名な吉田松陰の「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」です。簡単に言うと、夢や志をもたない者は、成功を手に入れることはできない、と言っているのです。

2つ目は詩人で書家である相田みつをさんの「夢はでっかく 根は深く」です。「大きな夢を持ちたいのなら、根が深くなければいけない。反対に根が深くなればなるほど、夢も大きくなる」ということです。もし、目に見えない根っこの部分が大きく育っていないと、それ以上大きな木になろうと枝を伸ばしても、重みに耐えきれずに倒れてしまいます。同じように「人」として大きくなるため、つまり、成功を収めるためには、目に見えない根っこの部分を深く深く伸ばしていくことが必要です。それは、地道な努力を続けていくことにより成し遂げられます。これまでの常識が必ず正解とは限らない時代に向かっています。そんな中で私たちにできることは、目の前のことを一生懸命にやること。そして続けることです。皆さんには無限の可能性が 있습니다。どうか、自分自身の可能性を信じ、夢や志をもって、あきらめず歩み続けてください。

後になりましたが、保護者の皆さま、お子様のご卒業、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。皆さまの大切なお子様を、3年間お預かりして参りました。ご期待に添えなかった点もあったことと思いますが、今日という日を迎えることができました。これもひとえに、皆さまの温かいご理解とご支援の賜物と感謝しております。

ご来賓の皆さまには、公私何かとご多用の中、ご臨席賜り、誠にありがとうございました。今後も、変わらぬご厚情を賜りますと共に、卒業生の成長を見守っていただきますようお願い申し上げます。

さあ旅立ちのときです。卒業生の皆さん、それぞれの夢に向かって力強く羽ばたいてください。

最後に、漫画ドラえもん9巻にある、のび太の担任の先生の言葉から。

「目が前向きについているのはなぜだと思う？ 前へ前へと進むためだ!」

皆さま方の益々のご多幸をお祈りし、式辞といたします。

【第55回卒業証書授与式】

44の若い翼が力強く羽ばたいていきました。

3月14日(金)、八千代中学校が1年間で最もやさしい空気に包まれました。日に日に春の暖かさが増していく今日の日、「第55回卒業証書授与式」を挙行了しました。朝、少しの緊張感を持って登校した卒業生は、式典が始まるまでの時間、2年生が前日飾り付けしてくれた教室で仲間と思い出を語り合ったりして、中学生最後の朝の時間を和やかに過ごしました。保護者や来賓の皆さん、在校生や教職員も体育館でスタンバイが完了した9時30分、いよいよ卒業生の入場です。大きな拍手の中、一歩一歩ゆっくりと、そして凛とした表情で卒業生が入場を完了しました。式は終始厳粛な雰囲気で行われ、卒業証書授与では、緊張しながらも一人ひとりが大きな声で返事し、しっかりと証書を受け取りました。在校生送辞は生徒会副会長のHさん、卒業生答辞には前生徒会長のOが大役を務め、2名とも心のこもったスピーチで大きな感動を誘いました。そして、式歌と校歌斉唱では、心に響く歌声を披露してくれました。卒業生の皆さん、すばらしい卒業式をありがとうございました。これからの活躍を応援しています。

